

感察工学研究会 第1回講習会

主催： 公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会
日時： 2012年3月17日（土曜日） 午前9時30分～午後2時30分
場所： 東京電機大学理工学部 鳩山キャンパス 本館208号室
参加費： 無料
申込先： 東京電機大学理工学部 電子・機械工学系 角田興俊

本講習会は目視検査に注目し、より効率的な目視検査技法の紹介と解説を行う。又、検査の自動化を行う場合の実践的取組方法の解説を行う。

開会： 9：30	感察工学研究会の取組	香川大学	石井 明
講演： 9：40	周辺視目視検査法	(株) HGST	佐々木 章雄
講演： 11：10	画像検査入門	(株) FAビジョン	丸地 三郎
12：10	昼食		
討議： 13：20	質疑応答		全員
閉会： 14：30	まとめ		

本研究会は、多くの企業が品質改善に努力している中で、地味で注目される事の少なかった“目視検査”自体に焦点をあて、作業効率の向上と検査員の目にも良い方法の研究と産業応用に取組んでいる。この研究活動普及の一貫として、本講習会を行う。

目視検査の事例

製造現場で目視検査，若しくは官能検査と呼ばれる検査工程が，品質の維持・保障に大きく貢献している。

・ 加工	： 製品の見える 表面仕上げ	=	キズ，形状 = 平面凹凸
・ 組立	： 電子部品の半田付け ネジ締め 部品の確認	=	形状，艶 = ネジ浮き = 欠け，割れ
・ 塗装	： 製品の板金塗装	=	色むら，艶
・ 表示	： 液晶パネル	=	色むら，ドット
・ 印刷	： プリンター印字	=	文字，カラー